



進路だより

第4号 令和 元年11月11日
宮城県立石巻支援学校
進路指導部

暑さが落ち着いたと思ったら、経験したことのない台風や大雨が襲ってきました。大変な思いをされた方につきましては、お見舞い申し上げます。児童生徒は、様々な実習や体験活動を通して、社会経験を広げたり学習の成果を発揮したりすることができています。実りの秋、また一つ大きくなったと感じます。保護者の皆様と成長を喜び合いながら、将来の自立へと歩みを進めていければ良いですね。

高等部～「後期 現場実習」

10月21日から11月8日までの三週間にわたり、後期現場実習が実施されました。前期と同様に校内での実習に加え、希望する職場や施設での実習に取り組みました。特に三年生にとっては卒業後の進路を見据えて行う、大切な実習となりました。



松の実

ビーズを選別して創作活動をしました。



小国の郷

畑の作業に取り組みました。



石巻青果

段ボールを準備する仕事をしました。



AKARI

空缶の分別をしました。

かなん

お菓子作りの準備をしています。

中学部～「3年生 施設見学」

10月4日に就労継続支援B型や生活介護の施設を見学してきました。昨年度までは、生徒のみの体験でしたが、施設について親子で知ることができるよう、今年度から親子見学になりました。仕事を体験したり、生活の様子を詳しく聞いたりして、将来の具体的なイメージや目標を持つことができ、充実した見学になりました。



小学部～「低学年

校外学習」



1・2年生は石ノ森萬画館に、3年生はKIBOTCHAに出掛けました。見学や遊びの順番を待ったり、映画を見たり、レストランで食事をしたりするなど、公共の施設を利用する体験をしました。学年が上がるごとにできることが増えてきました。



宮城県立石巻支援学校公開研修会

去る8月22日、進路指導部と地域支援部が合同で公開研修会を行いました。午前は、「**障害がある子供たちが社会で暮らしていくために～グループホーム、入所施設での暮らしについて～**」と題して**石巻市・女川町基幹相談支援センターくるみ センター長 斎藤康隆氏**、**社会福祉法人石巻祥心会 障害者支援施設ひたかみ園 係長 加藤志穂氏**、**社会福祉法人石巻祥心会 共同生活援助事業所十夢 次長 加藤義之氏**から、グループホーム、入所施設についての説明がありました。その後、本校卒業生のグループホーム利用者を交えてパネルディスカッションを行いました。



参加者の声

- ・生活の様子だけではなく、何にどれくらいお金が必要なのか、かかっているのか等の深い話も聞けたので良かったです。実際にグループホームに住んでいる人の話が聞けたので具体的にイメージができました。
- ・とても勉強になりました。しかし、医療的ケアがある人は、今のところ夢の場所はないということがとても残念でした。
- ・ひたかみ園の24時間の流れなどが分かり、参加してとても良かったです。入所施設、グループホームの違い、心構え等参考になりました。
- ・進路指導の際に役立つ情報を説明していただきました。(提示資料の中の)日頃の風景などを参考に、日常の指導に生かしていきたいです。
- ・グループホームについての、このような研修はなかなかなかったと思います。大変貴重な学習の場でした。すぐに役立つ情報がたくさんありました。参加して良かったです。
- ・石巻の現状も知ることができてありがたかったです。
- ・グループホームをはじめ、社会で生きることの重要さと大変さ、すばらしさを感じました。
- ・サテライト住居という仕組みについて初めて知りました。当事者の人生を尊重しながら支援でき、とても良いと思いました。
- ・本人、家族が納得していく形で入所施設やグループホームの生活を送れることがベストなんだと思います。
- ・学校卒業後の生活について、どのようになるのか、どのような選択ができるのかが分かりました。就職のことに加えて、生活についても少し触れながらお話しすることができればと思いました。

午後は、「**愛着の障害と虐待**」と題して**宮城教育大学 植木田潤先生**の御講演がありました。